

4月号
月刊

江戸川区議会議員

田中けん



区議会「一人の会」所属 無所属
vol.29 2006年4月15日発行

禁煙マークは、区民の健康を願う「田中けんの政治姿勢」を象徴しています。

info@t-ken.jp

R100

古紙配合率100%の再生紙を使用しています

お名前と連絡先をご記入の上、「月刊田中けん」への感想文を送って下さい。匿名にてご紹介いたします。ただし紙面の都合により短文化します。多数の御意見をお待ちしております。

弁護士の無料法律相談を受付中

詳しくは、080-3010-4522 までお電話を

特集 区議会一般質問



平成18年2月24日 区議会「一人の会」一般質問

私は通告に従い質問します。

質問に先立ち、年始におけるタワーホール船堀での喫煙状況について報告します。まず賀詞交歓会での会場喫煙はありませんでした。これを評価します。しかし、民間が主催する集会では、未だに会場喫煙が見受けられます。それを黙認している江戸川区の姿勢は評価できません。明らかに健康増進法違反です。早急に改善されるよう、私はねばり強く訴え続けます。

タバコ問題に関連して、前回の区長答弁にあった「タバコを規制する条例がないことこそ名誉なこと」という発言を取り上げます。

これは区議会だよりを通じて、広く区民が知る事実となりました。2006年1月24日付の東京新聞朝刊には、喫煙による迷惑を心配する区民の投稿がありました。この区民は、時代の流れに逆行する江戸川区の将来を憂えています。

タバコ対策について、区長は口を開けば「努力している」とおっしゃいます。しかし、その努力とは言葉だけのものであって、現場には何一つ反映されていません。

私からすれば、勉強もしていないのに「勉強をしている」と強調する受験生のようなものであって、おの

ずと試験の結果は不合格です。結果責任を果たしていない口先だけの区長の態度は、職務怠慢以外の何物でもないと断言できます。

よって、区民に失望を与えた「条例が無いことこそ名誉なこと。今後も作らない」という区長発言の真意を、今一度お述べ下さい。

さて次に人口問題について質問します。

区長は賀詞交歓会における年頭あいさつにおいて、以下のように発言されています。

「明治維新の頃、日本の人口は3,000万人ちょっとであったと言われております。終戦直後は7,000万人ちょっとということで、今1億2,000万人でありますから、この百数十年で日本の人口は相当増えたわけです。いくら少子化と言えども、これからももっと人口が増えて良いと言うことにはならないと思います。少子化は何とかしなければいけないということはもちろんです。同時に、人口規模をどの程度に適切にしていくかは、これからも課題であります」

このセリフ、これそのまま私の議会でのセリフです。タバコに関して頑迷な区長であっても、こと人口問題の認識においては、素直に私の意見を取り込んで、勉強さ

れているのだと感心いたしました。

この分野において、私と区長の見解はほぼ同一です。むしろ首長発言の重さや影響力からして画期的なことです。無条件な人口増が良くないこと、適正人口の発想を述べたこと、そして増え続ける江戸川区の66万人という人口を賛美しなかったこと、この3点において、多田区長は日本史に残る名区長でありましょう。私は支持します。

そうです。区長がおっしゃるとおり、人口は増えれば良いというものではありません。江戸川区の66万人という人口は飽和状態、むしろ多すぎて暮らし難いということに、区長発言を通じて、区民全体が目覚めて欲しいと思います。少子化や人口減少とは悪いことばかりではありません。今こそ、1人1人が、ゆとりある生活空間を手に入れるチャンスだと考えるべきです。今後、どんなに手厚い「少子化対策」という名の予算配分が行われたとしても、日本の人口は減り続けていきます。政治にはできることと、できないことがあって、これは「できない分野」の問題なのです。むしろ今の政治に求めるべきは、少子化によって人口が半減した100年後の日本、その時の江戸川区を見つめ、その時の対策を考えることだと思います。

しかし、人口半減という私のような未来予測を認めたくない日本人もいます。それは経済界、中小も含めた会社の経営者、雇用主です。人口減少を原因とする圧倒的な労働者不足が、将来の深刻な社会問題となるでしょう。その時、雇用主は、著しい労働力不足に根をあげて「何とかしろ」と行政の責任を追及することでしょう。

この時に外国人労働者問題が、きっと再浮上してくるはずなのです。雇用主は深刻な労働力不足を外国人に頼ろうとするでしょう。

しかし、果たしてそれで良いのでしょうか。安易に外国人労働者を受け入れてしまえば、彼らはきっと移民として定住するはずで、1人2人ならまだしも、まとまった数として増えてくれば、文化的な摩擦から生じる身近な住民同士の緊張関係は避けられなくなります。現在、日本では外国人によって、日本人児童を殺害する事件が大きく報道されています。私の予言は既に始まり、これから拡大化していくのです。

私は移民を否定はしません。しかしその受け入れは慎重かつ厳しく、限られた少数者に対して、合法的に行うべきです。違法者に対して、なし崩し的な現状追認で、定住を認めてはなりません。

2005年に起きたパリ郊外暴動事件は、決して対岸の火事ではありません。もしも日本が安易に大量の外国人労働者を受け入れてしまえば、同様の事件は今後100年以内の日本にも起こりうるでしょう。

フランスの人口は約6000万人。その中での移民人口は431万人。移民の数は全人口における7%。この移民比率は暴動が起こりうる可能性を示す数字として記憶したいものです。パリという大都市に限定すれば、移民比率はもっと高いはずで、受け入れは簡単でも、追い出しなど難しくできない。これが人間の特徴です。

ですから、日本人が減ったその後起こりうる外国人労働者問題、移民問題、そして潜在的に懸念される移民暴動など、区長のご見解、また地方自治体として、中長期的にやらねばならないこと、今できることなどを区長におうかがいします。政治家として、少子化、日本人現象を認めてこそ見えてくる100年後の未来に思いをはせてお答えください。

区長の回答

●喫煙問題はあくまでも個人のマナーで…

公共施設における喫煙対策は、違法だとは思っておりません。それがまず一点。

次に、ポイ捨て条例についての、私が前回ここで発言した問題について、東京新聞の声欄に私に対する、つまり問題提起がございましたが、読んでおります。

ちょっと幾つかのお話をいたしますが、中央区内に銀座という街がありますが、中央区がポイ捨て条例を作るに当たって、銀座の商店会にどう考えるかということ聞いたそうであり、銀座では、銀座の名前は全国にあるけれども、その本家がこの東京の銀座であって、そのことに我々は大変誇りを持っており、それをつくってきたのは我々だと、こういうことでもあります。そこでポイ捨てがあったときに、我々はきれいな銀座、美しい銀座を維持するために、街を挙げて全力でそれに対応しますと。つまり、条例などつくってほしくないと。もってのほかですと、こういう見解を示したそうであり、反聞しているお話でございます。

もう一つ、先般、東京新聞のこの投書を私が読んだそのすぐ後でございましたけれども、東部地域の環境をよくする運動の大会がありました。あそこでは、環境に関するポスター・コンクールとあわせて作文コンクールをしております。

そこで優秀な作文が小学校四年生の女子によって発表されました。いろいろ私も感動するような内容でありましたが、その中に、シンガポールとか、あるいは都内の幾つかの区でポイ

捨てについて条例をつくったり、あるいは罰金をとるといふようなことをしているというお話を聞いていますが、まことに悲しいことだと思います。自分でポイ捨てが悪いことだと気がつかないような大人は、それでよろしいのでしょうか。そういう決まりや、あるいは条例がなければ守れないといふようなことでよろしいのでしょうか、大変悲しく思います。もしそういうことに気がつかない大人ばかりであったら、街はゴミだらけになってしまうでしょうと、こういう作文を発表いたしまして、拍手喝采を浴びたわけではありますが、これをもってお答えいたします。

●打開策は日本人の知恵に期待

人口問題についてであります。大変重要な問題だと思います。少子化が言われ始めましてから長くなりますが、いっとき、バブルの時代だと思いますが、労働力が大変不足いたしました。日本に違法滞在者があふれ返ったという時期がございます。主として都市部でありますけれども、小岩の北口にも毎日毎日大勢の外国人がたむろしているという状況がございました。

あのときあたりから、移民の問題についていろいろ論じられるようになったとは思っておりますが、つまり先行き、少子化によって単純労働に従事してもらおう人たちがいなくなると、こういうことが指摘されました。そのことをどうして解決していくかということについて、移民ということが考えられるわけではありますが、この移民の是非については、つまり先進諸国の中で決してうまくいっていないという事例があるとい

うことがいろいろ言われました。

私もいろいろな文献で読みましたけれども、オーストリアでありますとか、ドイツでありますとか、つまり抱え込んだ人たちをその国が面倒を見ることになってしまったという、そういうことでもあります。フランスも最近では暴動が起きておるのは今御指摘のとおりでございますし、英国も移民によって大変いろいろな問題に悩まされているわけでありまして、そういう意味では、先進諸国の中で移民が何か労働力を解決しようとしたところで、成功事例というものを余り聞いたことがありません。多くの日本のそのことについて関心を持っている人たちは、大変な危惧を持っているのではないかというふうに思います。

特に日本の国のように陸続きでない国の国民性といたしまして、そういうことを短い期間の中で容易にどうかしていかれるかどうかということは大変な問題だと思います。特に、民族が違う、宗教が違うというような人たちとの付き合いの仕方ということがスムーズにいけるかどうかということは大変な問題でありまして、それがあられる限られた人たちであればいいのでありますけれど、単純労働という、かなりのところで働く人が出てくるということになった場合には、これは第二のオーストリア、あるいは西ドイツ、またフランスのようなことになりかねないという危惧はいっぱいあるわけでありまして、非常に慎重に考えていかなければならない問題だと思ってお

ります。

今は、どちらかといえば消極意見の方が強いのではないかと思います。これをすべきだという人もいるかもしれませんが、私の認識としては今そのように思っているところでもあります。

ところで、これからの高齢化社会の中で、そうした労働力をどうするのかという問題は、さまざまな課題に直面すると思いますが、昨日も申し上げましたように、必ず日本人の知恵で打開できると私は思います。

ですから、そういうところに望みをかけて、高齢者の方々が社会の中で生き生きと、それぞれの役割分担で、相対人口が減ることの中でどう活躍するか、これは経済活動に非常に影響してくることだと思えます。

●経済低成長の中、問題のない選択を

現在の日本をそのまま持続しようとするならば、問題がいろいろ出ると思いますが、経済界も考えなければいけない問題だと思います。経済は縮小するかもしれません。経済的にどう大国になるかということをもた改めて考えなければならぬという局面も出てくると思えます。

そういうことで、余り先行きに問題がない選択をしていくべきだと思っております。この件は同感だと思いますが、よろしく願います。

実録!

路上喫煙との闘い

区長が言う「喫煙者のモラル」は本当に期待できるのか？ 行政にたずさわる者でさえポイ捨てをする実態。タバコ規制条例を作らなくても江戸川区は変わるのだろうか？

3/24(金)6時45分頃、船堀駅南口前にて、自転車整理をする人たちによる路上喫煙を発見しました。

3人の内、2人が喫煙しながら談笑しています。しかもポイ捨ても。同じ場所では、路上のゴミを拾っている人がいるのに。

田中けんは、駅前でのチラシ配布を中止して、彼らに向かって歩き始めました。

けん 「あなたたちは自転車を整理する人たちですよ」

3人 「そうだけど」

けん 「今、江戸川区は環境をよくする運動をしています。路上喫煙をやめなさい」

3人 「何で俺たちだけに言うんだ。(通勤者を指さして)あいつらだって、みんな吸っているだろ」

けん 「あなたたちは江戸川区の職員でしょ。職員が路上喫煙をしても良いと思っているのか」

3人 「俺たちは江戸川区の職員ではない。ただ江戸川区に頼まれてやっているだけだ」

けん 「職員でないにせよ、江戸川区の腕章をしている以上、区民は職員だと見なします。やめなさい」

3人 「何で吸っちゃいけないんだ。誰が決めたんだ。おまえが決めたのか」

けん 「(「歩行喫煙をやめよう」というのぼり旗を指さして)江戸川区が決めたことだ」

3人 「なんだおまえは議員だろ。偉そうに。俺たちが選挙の時に一票を入れたかもしれない区民に向かって、何だの態度は」

けん 「ふざけるな。仕事中にタバコを吸って良いと思っているのか。監督指導する者が注意するのは当たり前だ。おまえたちこそ何を言っているんだ」

3人 「仕事は7時から。今はまだ仕事前で休憩中なんだよ」

けん 「休憩中ならば、こんな人目につくところでタバコなんか吸うな。江戸川区の腕章も外せ」

3人 「タバコぐらい吸わせろ」

けん 「タバコぐらいだあ？ だから江戸川区は路上喫煙をしないように運動していると言っただろ。それが分からないのか」

3人 「タバコぐらい、みんな吸っているだろ」

けん 「残念ながら、江戸川区にはまだタバコ規制条例はない。だから一般区民に強くは言えない。しかし、おまえらは江戸川区の腕章をしている以上、今は一般区民ではないだろう」

3人 「俺はタバコを吸っていない」(たまたま喫煙していなかった1人がそう反論する)

けん 「おまえが吸っていなくても仲間が吸っていたらどう。なぜ注意しない」

3人 「何だ偉そうに」

けん 「偉そうにとは何だ。このことは役所で問題にするからな」

3人 「あー問題にしろ。問題にしてみろ」

その異様な雰囲気を感じてか、警察官がやってきました。事情聴取をされました。時刻が7時になると3人は「仕事だ」と言って、その場を勝手に離れました。警察官とは暴力行為が無かったことを確認して別れました。

10時に田中けんは役所に戻りました。担当職員を呼び、事件の報告をしました。同日15時過ぎ、駐車駐輪課の課長と江戸川区熟年人材センターの事務局長が二人で、議員控室へ来ました。当事者が事実を認めたこと。あの場では、つい反論してしまったが、今では深く反省していること。もしも今後もこのような態度が改まらない場合には、配置転換も含めて検討すること。このような調査報告と謝罪を受けました。

教訓として、タバコの無い社会の実現には、条例などによる上からの改革と、現場を見たら注意をするという下からの改革が、同時並行的に必要です。今回と同様の場面を発見したら、是非通報してください。

江戸川区駐車駐輪課 3652-1151(代)
熟年人材センター 3652-5091

読者からのお便り

児童手当をもっと手厚く
するとか、何かしら
支援対策をもっと
増やしたり、また
晩婚化も原因だと
思います。(私もそ
のうちの一人ですが)
結婚しても仕事
が続けられる制度、
復帰できる制度、
男性の育児休暇の
強化、区や市、国な
どがあっせんする、
料金の安くて安心
できる紹介所の運営、

私は一応将来を約束し
ている人がいるのですが、
ふみきれない理由は、子供
を産むことに不安がある
ということと、生活してい
けるのか不安である、とい
ったところにあります。
参考まで。

◆少子化対策についての
べられている方がいらっ
しゃいました。私の姉は
三人子供がいます。
同じ年の友達も、(つい
に三十路になりましたが)
三人目が産まれました。他
にも結婚している友達には
は、ほとんど二人います。
なので結婚してる人は
それなりに産んでると思
うんです。
でもさすがにうちの姉
も三人は、かなりやりくり
が大変そうです。
特に下は年子なので、一
人に何か買いやえれば下
もほしがるといった具合
で何かとお金がかかるよ
うです。

またはお見合いパーティ、
(民間はさくらが多いです)
など、結婚しやすい環境が増
えたらと思います。
また、よい産婦人科の充
実、女性の病気に對する検
査のあっせん、など子供が
安心して産めるような施
設や対策も必要だと思
います。
余談ですが、三十すぎて
結婚しない理由は、いろい
ろですが周りの友達は、ほ
とんどが「いい人がいない」
です。
ほとんどが相手の理想
はというと年上を求めます。
三十すぎて年上の男性
であまってるとなると、は
っきりいって「何か問題が
ある。」か、「ろくでもない」
か「×がある」という結論
に達してしまふのです。
なのでよい男性を育て
る環境の強化も必要かも
しれませんね(笑)

田中けんとの対話集会

参加費無料

※参加希望者は、自宅事務
所まで、必ず予約をして
ください。(当日可)

平成18年5月14日(日) 9:30~12:00
タワーホール船堀 405会議室

江戸川区船堀4-1-1 03-5676-2211

ボランティアによる軽作業のお手伝いも願います。



「月刊田中けん」を買ってください (形を変えた政治献金のお願い)

この月刊紙は区内駅前を中心にお配りしています。制作には、1枚10円で1万部発行により、毎回約10万円の費用がかかります。田中けんの政治活動を経済的に支えてください。

ただし透明な政治資金にするため、扱いは全て銀行振込にします。それらの合計が年間5万円を超える場合には、政治資金規制法第12条により、対象者の氏名・住所・職業などが公表されます。ご協力をよろしく願います。

料金振込先

みずほ銀行
小松川支店
普通 1015472
田中けんを応援する会

【勝手に推薦】各種銀行ランキングで、常に上位で評価される新生銀行(0120-456-860)。インターネットを使った振込手数料は月5回まで無料。セブンイレブンや郵便局のATM利用は、毎日24時間手数料無料。キャッシュカードは、海外のATMでも、自分の銀行口座から引き落としして、直接、現地通貨が手に入ります。便利です。おすすめします。【勝手に推薦】

高速道路の無料化

禁煙の徹底

人口過密の解消



江戸川区議会議員

自宅事務所

〒132-0021 江戸川区中央4-25-14

電話 03-5662-7755

E-mail info@t-ken.jp

田中けん

プロフィール

- 1966年 江戸川区生/松江三中卒 墨田川高校卒 千葉大学教育学部卒
 - 1995年4月 江戸川区議会議員選挙 (2789票・41位)当選
 - 1999年4月 同選挙 (4282票・16位)当選
 - 2001年6月 東京都議会議員選挙 (12394票・8位)落選
 - 2003年4月 江戸川区議会議員選挙 (4103票・15位)当選
- 江戸川トリアスロン連合会長、ホームヘルパー2級、スペイン語を勉強中

ホームページからは、田中けんがテレビ出演したときの映像を、動画にてご覧いただけます。

www.t-ken.jp